

令和4年度

家庭学習の手引き



高砂市立荒井中学校

2年生

1. はじめに

授業を理解し、充実した学校生活を送るためには、家庭学習の習慣をつけることが大切です。

しかし、「家庭学習の仕方がわからない」とか「何をどのように学習すればよいかを教えてください」などの悩みをもっている人は、意外と多いかもしれません。

そこで、みなさんが家庭学習を進めていく上で、少しでも役に立つように、荒井中学校の「家庭学習の手引き」を作成しました。

ここに書いてあることは、それぞれの教科の授業でも、先生方が繰り返し話されると思いますが、この冊子をよく読んで、家庭学習に自主的に取り組み、学力を伸ばしていきましょう。

2. 3つの家庭学習

(1) 毎日の家庭学習

- ①宿題は必ず授業のあった日に済ませましょう。
- ②予習と復習をしましょう。

Q 予習と復習ではどっちが大事？

A まずは、復習です。習ったことを忘れないうちに復習すると、記憶が定着します。「あとからやればいいか。」では、忘れてしまうのです。
予習は、余裕があればやる程度でいいと思います。

各教科の予習・復習の仕方については、冊子の中に詳しく書いてありますのでよく読んでください。

(2) テスト前の家庭学習

① 学習計画を立てましょう。

テスト範囲表が定期考査2週間前ぐらいに配付されます。

まず、1日何時間勉強するかを考え、テストの日から逆算して、総勉強時間を算出します。

次に、その時間を教科数で割り、各教科にあてる時間を出します。その時に、不得意科目は時間数を多くとるようにしましょう。詳しい工夫の仕方は、先生に聞いてください。いいアドバイスがもらえると思います。

Q なぜ計画を立てて、勉強するのか？

A 「段取り力」をつけるためです。

期限から逆算して、計画を立てて、仕事を遂行する。納期までにキッチリ仕上げる。こうした能力を「段取り力」と呼びます。社会人として仕事をしていく上で、この段取り力は非常に重要な能力です。

しかし、それは自然に身につくものではありません。期限に追い込まれるという経験を何度も重ねないとダメなのです。この段取り力は、受験や試験を経験していくことで伸びるものです。今、君達はその訓練のために勉強しているのです。勉強することで仕事に生きる「段取り力」がつくのです。

(3)受験にむけての家庭学習(3年生) *1・2年生も参考にしてください。

5教科の勉強の仕方→ ルーズリーフを活用しよう

①社会・理科はサブノートを作る

社会や理科は日頃時間がなくて、なかなかじっくりと勉強できていないのではないのでしょうか。だから、週末や夏休みに要点をノートにまとめることが大切です。その時に、マイペースや新研究の図などを縮小コピーして貼り付けるなどの工夫をすればいいものができると思います。その時、順番を入れ替えられるルーズリーフが便利です。

②英語は基本構文を書き出す

ノートの1ページを半分に区切り、基本構文と日本語を書きます。日本語←→英語が出来れば完璧。(ルーズリーフが便利)

③国語は新聞のコラム欄を読む

コラム欄を要約するのがベスト。できなければ、題名をつけたり、大事なところに線を引いたりしてみましょう。漢字の勉強は「新研究」P160~P163、P198~P202を繰り返す。古文の対策としては、重要古語を覚えるのもいいと思います。

④数学は問題数をこなす

苦手な人は、まず例題ができるようにする。次に、そのパターンの問題を繰り返す。人の3倍は問題をやりましょう。

ポイント

①私はこれだ！という「1冊主義」→いろんな参考書を見るのはダメ。

塾の宿題等に振り回されていると、頭の中が整理できません。塾にいている人は、テキストなどをうまく活用しましょう。

そして、「私はこれだ！」という参考書、問題集、または自分で作ったサブノートで勉強しましょう。

そうすると記憶が定着します。

さあ、あなたは入試前日、何をカバンに入れますか？それを考えて受験勉強してみてもはどうでしょう。

今日勉強したからといってすぐに結果はでない

米粒の話

江戸時代の儒学者「新井白石」の父親が我が子に学問について次のような話をしたそうです。

「白石よ。学問を初めから好きな者はいない。努力を積み重ねることで、いつのまにか気がついたら成果となって表れていた。学問とはそんなものだ。逆も同じだ。米を箱から1日1粒ずつ取っていても減ったことはわからない。しかし、1粒でも減ったことには変わりがない。そしてある日ふと減ったことに気がつく。学問はそういうもので、今日怠けたからといって、明日急に馬鹿になるわけではない。しかし、米1粒の怠けが重なって、可能性、成長を止めてしまう。今日勉強したからといってすぐに結果はでないが、その積み重ねがふと気がついたら成果となるものだ。」

努力がすぐに報われるとは限らない。しかし、積み重ねなくして可能性なし。

努力の成果は、少し遅れてやってくる

各教科の家庭学習法



1 毎日の家庭学習

予習の仕方

- ① 教科書を音読する。
- ② 読めない漢字を読めるようにする。
- ③ 難解語句の意味調べをする。

復習の仕方

- ① ワーク(副教材)の問題を解いて内容を確認する。
- ② 漢字のワーク「漢字ノート」を使って漢字の学習をする。

2 テスト前の家庭学習

定期考査の勉強の仕方

- ① テスト範囲内の作品を音読する。
 - 特に古典の場合は、暗唱するぐらいよく読む。
 - 古典は読んで現代語訳ができればOK
- ② ワーク(副教材)の問題をしっかりとやる。
 - ワークの問題からテストに出題します。
- ③ 「テストに出る漢字プリント」をしっかりと勉強する。
 - 「テストに出る漢字プリント」から20問テストに出題します。
- ④ 文法がテスト範囲の場合
 - 文法ワーク「スパッと攻略国語文法」の問題と授業のプリントの問題を何回もする。(その中から出題します。)
- ⑤ テスト前の提出物
 - ①ワークブック ②漢字ワーク ③テストに出る漢字プリント

3 日常生活でできること

- ① できるだけ、新聞のコラム欄を読み、いい文章に親しむ。
また、その文章に題名をつける。
(コラム欄は、新聞がなくてもネットで見ることができます。)

各教科の家庭学習法

社会

1 毎日の家庭学習

予習の仕方

- ① 次の時間に学習するところの教科書や資料集を読んでおく。
- ② わからないところがあればメモやしるしをつける

復習の仕方

- ① 家庭で自分のノートや教科書を見直し、簡単にまとめ直す。
- ② ワークをする。
- ③ わからないところは後日、先生に質問をする。

2 テスト前の家庭学習

- ① 内容を理解する。
 - ・教科書をよく読む。
 - ・太字の語句を覚える。
 - ・歴史的分野では語句を覚えるだけではなく、年表や年代を使って大まかな流れを理解する。
 - ・公民的分野では文字だけではなく、図や資料などを見て、視覚的に理解する。
- ② 重要語句の暗記
 - ・何度も書いて言って覚える(難しい漢字など正確に覚える。)
 - ・単語カードなどを使う方法もある。
- ③ 問題を解く
 - ・ワークや問題集やプリントをする。
 - (間違った問題やわからない問題は教科書で確認し、もう一度やり直す)
- ④ 終わったテストをファイルにしておく。(もう一度やり直したり、次のテストの前にやり直す)

3 日常生活でできること

日頃からノートの整理をしておく。

各教科の家庭学習法



1 毎日の家庭学習

- 毎日15分ずつ学習する習慣をつける。
- 予習の仕方
 - ① 翌日に学習するところを読んで、例題を解いてみる。
 - ② 教科書の内容がわからないところをチェックしておく。
※わからないところを、授業で特に集中して聞けるように準備する。
- 復習の仕方
 - ① 授業ノートを見直す。宿題をする。
 - ② 授業中解けなかった問題を解く。
 - ③ 間違った問題はもう一度チャレンジする。
 - ④ できなかった問題は、解答例を見ながら解いてみる。

2 テスト前の家庭学習

- ① ノートを見直す。プリントやワークをもう一度やり直す。
- ② 教科書の例題で解き方を確認する。
- ③ できなかった問題は、解答例を見ながら解いてみる。
- ④ 解説を意味が分かるまで読み込む。必要があれば教科書に戻って確認する。
- ⑤ 同じ問題でも、何度も繰り返し解いてみる。(何も見ずに解けるまで)

3 日常生活でできること

- ① 日頃からノートを整理しておく。
- ② テスト直しは、必ずする。
- ③ わからないところは、友達や先生に聞いて解決する習慣をつける。
- ④ 1つの問題をじっくり考える習慣をつける。

各教科の家庭学習法



理科

1 毎日の家庭学習

予習の仕方

- ① 教科書の翌日に学習するところを読んでおく。
- ② 教科書の内容がわからないところをチェックしておく。
※ わからないところを、授業で集中して聞けるように準備する。

復習の仕方

- ① 授業用ノートを参考に、理科ノートの左のページの問題を解く。
- ② 問題集(学習整理)の問題や、配布されたプリントの問題を解く。
- ③ 問題集(学習整理)や配布されたプリントで間違えた所は、印をつけ確認し、解きなおしをする。
※ なぜその答えになるのか理解できない問題などは、先生や友達に聞くなどし、解らないところを増やさない努力をする。

2 テスト前の家庭学習

- ① 試験範囲の教科書、ノートを読み返す。
- ② 重要語句、用語の意味、公式、実験観察に関することで暗記しなければならない内容をチェックする。
- ③ 理科ノート、プリントを解きなおす。間違えたところは再度確認する。何度も解きなおし、問題に慣れておく。

3 日常生活でできること

- ① テスト直しは、必ず行う。
- ② 日頃からノートを整理・確認しておく。
- ③ わからないところは、友達や先生に聞いて解決する習慣をつける。わからないことをそのままにしない。

各教科の家庭学習法



英語

1 毎日の家庭学習

予習の仕方

- ① 学習する予定の教科書の本文 (thinkのページ) をパーフェクトノートに書き写しておく。
- ② 新出の単語 (new words) をパーフェクトノートに書き写し、意味調べをしておく。

復習の仕方

- ① 教科書を音読する。何度もくり返し読んで、暗記に近付ける。
- ② その日にとったノートやプリントの見直しをする。
- ③ 新出の単語や熟語をノートに書きながら覚える。日本語の意味を見て、単語や熟語が書けるようにする。
- ④ 学習した所のワークをする。
- ⑤ プラスノートを1週間に2ページ自由に書き込み練習し、指示された日に提出する。

2 テスト前の家庭学習

- ① テスト範囲の単語や熟語を完璧に覚えて書けるようにしておく。
- ② 基本文 (Scenesの所) の対話文を暗記して、書けるようにする。
- ③ ワークや配布した問題のプリントの間違った所を解けるようになるまで、くり返し練習する。

3 日常生活でできること

- ① NHK第2放送の「基礎英語1」を聞く。(月～金 午前6:00～6:15、午後6:45～7:00、午後9:00～9:15)
*テキストは書店で買えます。1冊(1か月)550円。
- ② 英語の歌、映画など普段から英語に親しむことも大事。

各教科の家庭学習法



1 授業の中で大切にしたいこと

- ① 集中して音楽に取り組む
- ② 音楽を楽しむ
- ③ 楽器を大切に扱う

2 テスト前の家庭学習

- ① 授業中に蛍光ペンなどでチェックを入れたところを重点的に覚える。
- ② 授業中の先生の言うことをしっかり覚えておく。
- ③ ワークを活用して復習をする。(答えを写すだけにしない)

3 日常生活でできること

- ① テレビなどでクラシック音楽など流れていたら積極的に見る。
- ② どんなジャンルの音楽でもいいので親しみを持って触れ合う。
- ③ 楽器に触れる機会を増やす。

各教科の家庭学習法



1 授業の中で大切にしたいこと

- ① 「自分のことは自分です。」は自立の第一歩です。持ち物をそろえるのも自分のこと、作品を作り上げるのも自分のことです。他の人に手伝ってもらってはいけません。
- ② 一週間に1時間(1年生は2時間のときもありますが)しかないので、集中して作業すること。私語をしない。
- ③ 出来上がった作品を見た人(自分も含む)を幸せにできるような作品を制作できるように頑張る。

2 テスト前の家庭学習

- ① テスト範囲は美術資料や教科書から出題されることが多いので、日頃からよく見ておくといよい。
- ② テスト範囲を確認して、重要語句を覚えるとよい。

3 日常生活でできること

- ① 日頃見ているマンガやアニメ、イラストなど自分が好きだと思いのものにとっておき(ストックしておき)、作品に使えるようにする。
- ② 美しいものを美しいと感じられること、感動したことを周りの人と話せるようにする。
- ③ 時間や機会のあるときに、美術館などに連れて行ってもらって、名画や素敵な作品を鑑賞しておくといよい。

各教科の家庭学習法



保体

1 授業の中で大切にしたいこと

- ① 欠席をしない。
- ② どんな種目においても、積極的に参加する姿勢。
- ③ ルールやマナーを守る態度。
- ④ 服装を正す。また、忘れ物をしない。

2 テスト前の家庭学習

- ① 実施種目のルールや技の名称を覚える。
- ② 授業ノートやプリントを確認する。
- ③ テスト範囲表に書いてあることをしっかりと確認する。

3 日常生活でできること

- ① 早寝・早起き・8時間以上の睡眠を心がける。
- ② 家事を手伝い、積極的に体を動かす。
- ③ 新聞を読んで、保健・スポーツ関係のニュースに関心を持つ。

各教科の家庭学習法



1 授業の中で大切にしたいこと

- ① 指示をしっかり聞いて、時間内に作業を終わらせられるようにする。
- ② ケガをしないように指示以外のことはしない。
- ③ 工具は正しく、大切に扱う。
- ④ 授業で話をした「LOVE」を守る。

2 テスト前の家庭学習

- ① 授業中に話をしたところを重点的に学習する。
- ② 教科書の黒太字をしっかり覚えておく、
- ③ ワークを活用して復習をする。(答えを写すだけにしない)

3 日常生活でできること

- ① 世の中で使われている技術はたくさんあるので、その技術がどのような仕組みかなど、疑問を持って調べる。
- ② 家の壊れたものを修理したり、DIYに興味を持つ。
- ③ パソコンが家にあるならば、積極的に活用する。

各教科の家庭学習法



1 授業の中で大切にしたいこと

- ① ON/OFFをきりかえ、先生の話をしっかり聞いて、自分で考える。
- ② 自分の道具や学校備品を正しく、大切に扱う。
- ③ とくに実習は、怪我をしない・させないように、集中して行う。

2 テスト前の家庭学習

- ① 範囲の教科書はしっかり読んでおく。
- ② 副教材(ハンドノートやワークシート)を整理して、復習をする。
- ③ 範囲表を見通して、他教科との兼ね合いをよく考えて、計画的におこなう。

3 日常生活でできること

- ① 自分のためにしてくれている身の回りの生活(家事)に関心を持ち、内容を知る。
- ② 家庭での仕事(家事の手伝い)を積極的にする
- ③ 自分や家族の将来を想像し、人と環境に優しい生活をする(SDGs)

1枚のプリントを
本気で仕上げるか
それとも

「どうでもいい」と考えて
表面だけをとりにつくりろうか
その差は

ほんのわずかのように見えるが
やがては決定的な差を生む